

本市施設の節電・省エネ実績（4～7月）及び今後の温暖化対策について

1 本市施設の節電・省エネ実績について

（1）節電・省エネ目標《平成 22 年度比》

- ・節電目標（夏季のピークカット）：▲10%以上（市庁舎は▲20%以上）
- ・省エネ目標（通年の使用電力総量削減）：▲10%以上

（2）7月節電実績（ピークカット実績）《平成 22 年度比》

施設名		目標	節電実績（ピークカット実績）
本市施設全体	大口施設	▲10%	▲16.3%、▲22,122kW（135,867kW→113,745kW）
	小口施設		▲15.6%、▲470万 kWh（3,012万 kWh→2,542万 kWh）
市庁舎		▲20%	▲23.4%、▲279kW（1,191kW→912kW）

（3）4～7月省エネ実績（総量削減実績）《平成 22 年度比》

期間	通年目標	省エネ実績（総量削減実績）
4～7月	▲10%	▲13.8%、▲4,068万 kWh（2億9,482万 kWh→2億5,414万 kWh）
うち7月	—	▲13.4%、▲1,073万 kWh（8,036万 kWh→6,963万 kWh）

（4）平成 24 年度の主な取組（全施設共通の取組）

- ・エネルギー使用量・使用料金の四半期管理（夏季は毎月）と公表
- ・室温 28℃、照明減灯、OA機器省電力設定など執務室における取組の徹底
エレベーター等は市民の利便性に配慮して適切に運用
- ・各区局統括本部に節電・省エネ推進担当（総務担当課長）を配置
- ・全職員を対象に節電・省エネ研修を実施

2 今後の温暖化対策について

- ・現在、国において、将来の原子力比率や再生可能エネルギーの導入目標、温室効果ガスの削減量等について議論しています。
- ・国の温暖化対策の動向を注視しながら、『横浜市地球温暖化対策実行計画』の見直しに着手していきます。

（参考）現在の本市地球温暖化対策実行計画の目標

	目標	基準年
中期目標	2020 年度に温室効果ガス排出量を▲25%	1990 年度比
長期目標	2050 年度に温室効果ガス排出量を▲80%	